

V. 参加者名簿

ワークショップの参加者は、以下のとおりです。(敬称略、50音順)

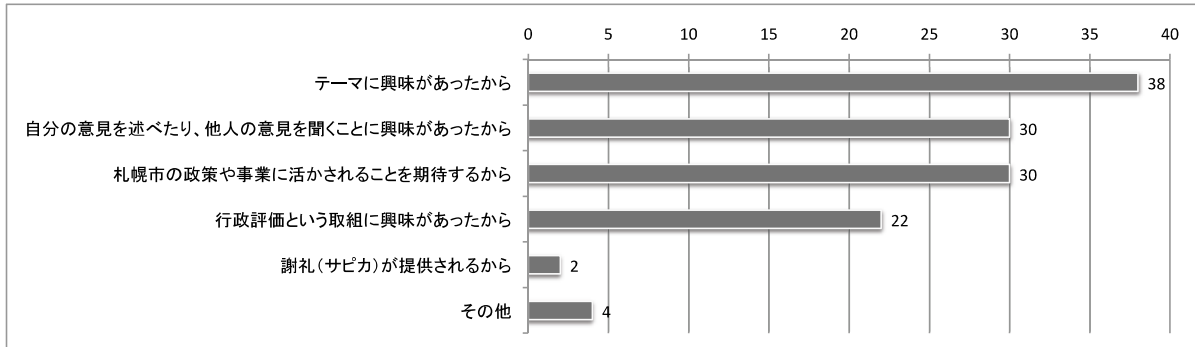
テーマ1：地域防災力の強化について			
石田 多香子	石中 孝行	岩淵 良子	打越 節子
遠藤 久美子	岡田 春男	置田 勝助	小倉 諭
小池 清志	木場 正幸	今野 善修	庄 曜子
菅野 暁子	菅野 康憲	高橋 美智子	高原 孝義
田中 千佳	豊福 滋	中野 久子	中村 恒男
中村 充	橋場 光	橋場 八重子	長谷川 眞知子
島山 清	藤井 力	牧 静子	
テーマ2：札幌の魅力を高める都心のまちづくりについて			
浅野 のぶ子	阿部 正榮	井上 英恵	岩崎 友雄
牛島 朋子	大下 尚子	小林 安則	齊藤 掌
島野 和彦	高野名 雄介	竹原 圭子	中井 行夫
中野 美樹子	中村 正	中村 ゆかり	成田 征雄
藤島 学	藤田 むつ子	藤田 喜徳信	間山 眞利子
宮村 勇治	宮本 聡	村井 博志	山本 喜美子
渡邊 淑子			

VI. 参加者アンケートのまとめ

ワークショップ終了後に記入いただいた参加者アンケートの結果は、以下のとおりです。

(アンケート回収数 テーマ①:27、テーマ②:25)

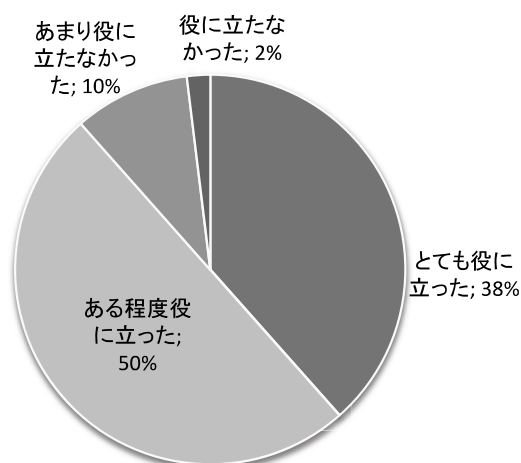
(1) 今回、市民参加ワークショップに参加することを決めた理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



<その他のご意見>

- ・地域で役員をしているので、参考になる事があると思ったので
- ・最近は思いがけない災害が多いので、自分自身も気をつけるようにするために
- ・何もわからないで暮らしているので勉強のために
- ・大好きな札幌のために市民として役にたてると思った

(2) 今回の市民参加ワークショップの前に事前勉強会を開催しました。事前勉強会は議論をしやすくする上で役に立ちましたか？あてはまるもの一つに○をつけてください。

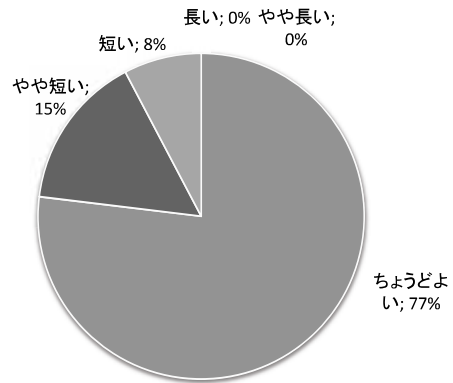
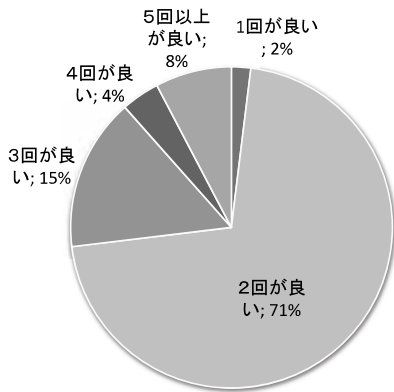


(3) 今回の市民参加ワークショップの設定について、どのように感じられましたか？

5段階のうちあてはまるもの一つに○をつけてください。

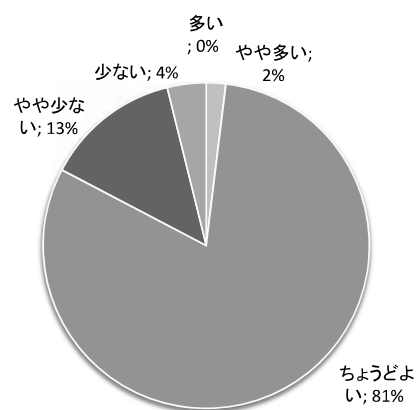
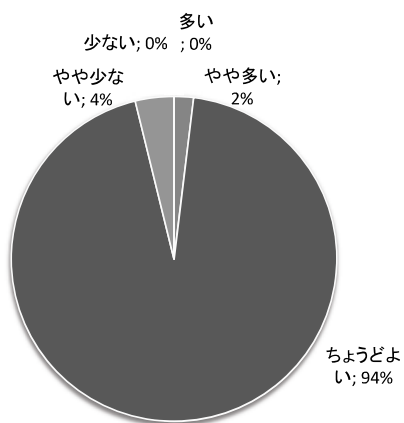
(3)-1 回数について(事前勉強会含む:現在2回)

(3)-2 議論の時間について

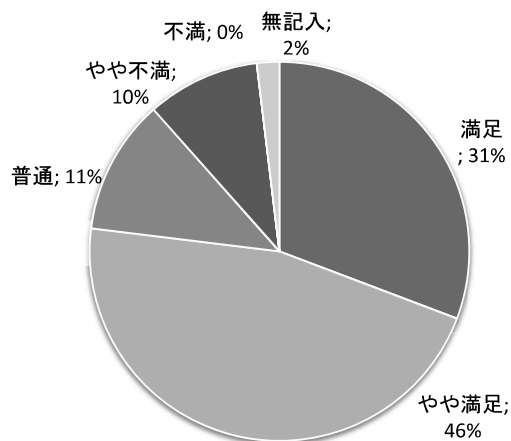


(3)-3 テーブルごとの人数について

(3)-4 全体のグループ(テーブル)数について

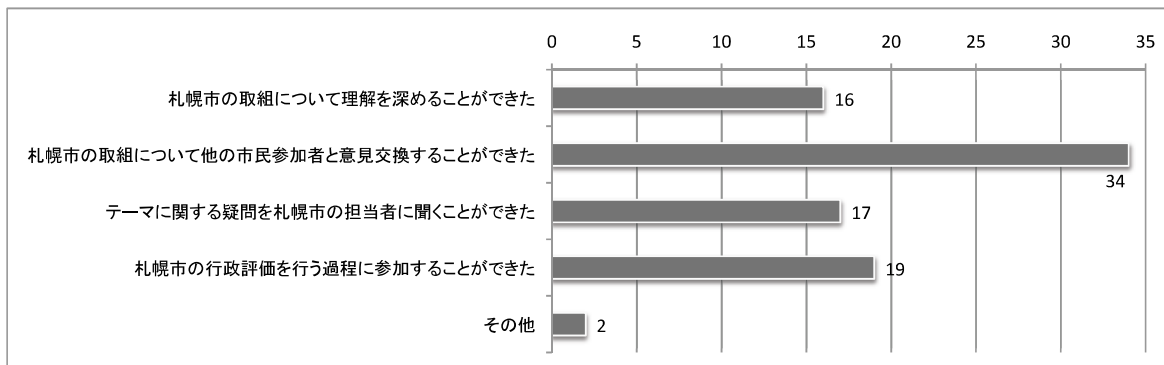


(4) 今回の市民参加ワークショップに参加した満足度について、あてはまるものひとつに○をつけてください。



(4)で「満足」または「やや満足」と答えた方にお尋ねします

どのような点に満足されましたか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

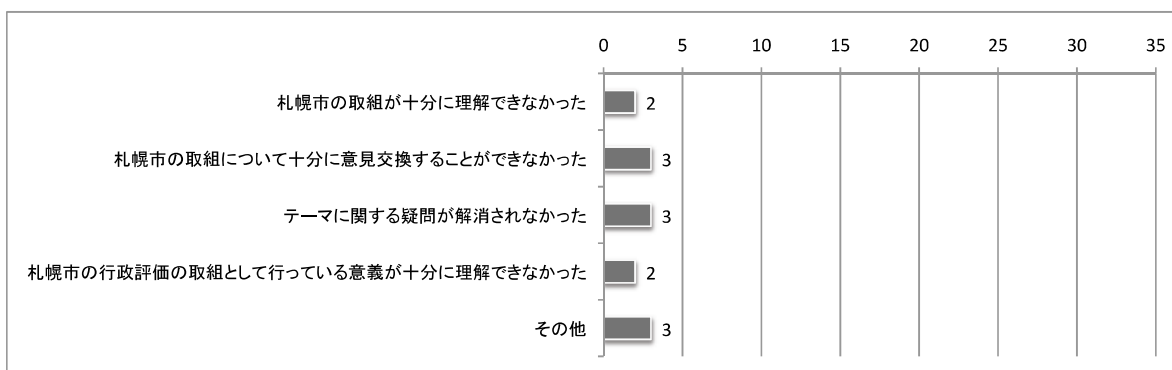


<その他のご意見>

- ・市の職員の方が、とてもテキパキと対応してくれて、良かったです
- ・より関心が持てるようになった（深く）

(4)で「やや不満」または「不満」と答えた方にお尋ねします

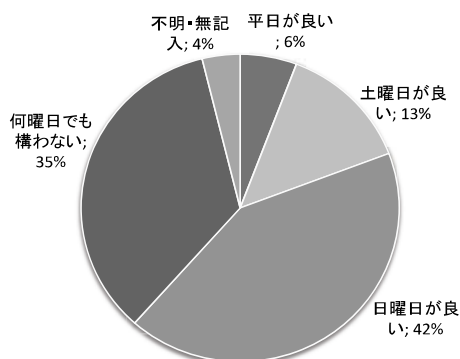
どのような点に不満を感じましたか？あてはまるものすべてに○をつけてください。



<その他のご意見>

- ・市民アンケートにあった「無回答、特に何もしていない」30%の人たちへの取組の話が殆ど上がらなかった
- ・防災という課題では範囲が広く、防災と被災後を分けて議論すべき
- ・勉強会を充実して、時間をかけて

(5) 今回のワークショップは日曜日に開催しました。今後、このような取組にあなたが参加される場合、何曜日の開催が望ましいでしょうか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



(6)ワークショップの取組全体を通して、より多くの方にご参加いただけるワークショップにしていくための工夫・アイデアなど、ご意見、ご感想がございましたらお書きください。

●**主なご意見(より多くの方に参加いただけるための工夫・アイデアなど)**

- ・HP上にフォーラムとして設置したら良い。
- ・若い人をもっと多く参加させる必要があるのでは？
- ・10代にも参加してもらえたら、また違う視点が得られるのではないのでしょうか。スコットランドでは16歳以上でした。
- ・若い人がより参加しやすい仕組みであればよいと思いました。
- ・若い世代にも参加いただいた方が良いです。
- ・もっと多くの人へPRしてほしい。

●**その他、参加した感想や、ワークショップのテーマや進め方に関するご意見など**

- ・とても勉強になりました。楽しかったです。また参加したい。
- ・他の地域に住んでいる方の考え、心配など聞けて参考になりました。
- ・楽しかったです。
- ・住みやすい札幌にする為に皆で力を合わせる事が大事で、私達市民の意見を行政の参考にしていただけることに感謝します。
- ・いろいろな意見が出ました。これをまとめて防災を万全なものにして下さい。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・いろんな人達と会話の中で防災に関心度がわかって大変良かった。
- ・話合いの過程(出たアイデア等)を大切に生かしてほしい。
- ・とても良い経験でした。
- ・初めて参加した。色々なワークショップがあるのですか？今後も、チャンスがあれば参加しやすいと思います。
- ・ワークショップのようなことをもっとたくさんしてほしい。
- ・今回話し合った結果を知りたいです。
- ・子供達がスポーツの出来る場を。例：バスケット
- ・高校、大学と連結した活動があっても良いと思う。例：学生とのディベート、論文活動をもっとアクティブに。
- ・都心に限らず札幌市全体についても考えてほしいと思いました。
- ・今回の事前勉強会は、当日議論しやすいように市の考え方、方針等を説明して欲しかった。
- ・テーマを絞って、時間をかけて、消化不良にならない対策を。
- ・事業が終わってからではなく、その前にこのような意見交換をやるべきではないか。

Ⅶ. 対象テーマ事前勉強会の記録

1. 対象テーマ事前勉強会での説明内容

対象テーマ事前勉強会において、「行政評価の取組について」、「ワークショップの進め方について」の説明には、以下の資料を配布し、スクリーンで投影してご説明しました。

また、対象テーマの説明については、第Ⅷ章（p.51～）にある資料を用いて、各担当部局から説明を行いました。

平成26年度 札幌市行政評価 市民参加ワークショップ

対象テーマ事前勉強会

平成26年9月10日（水）

本日のプログラム

時間	内容
13:30～	開会
13:40～	行政評価の取組について
13:45～	ワークショップの進め方について
13:50～	休憩 (テーマごとに会場が分かれます)
14:00～	対象テーマの説明 テーマ1「地域防災力の強化について」 テーマ2「札幌の魅力を高める都心のまちづくりについて」
14:40～	質疑
15:25～	お知らせ
15:30	閉会

※進行状況により、多少時間が前後する場合がありますのでご了承願います。

本日のプログラム

時間	内容
19:00～	開会
19:10～	行政評価の取組について
19:15～	ワークショップの進め方について
19:20～	休憩 (テーマごとに会場が分かれます)
19:30～	対象テーマの説明 テーマ1「地域防災力の強化について」 テーマ2「札幌の魅力を高める都心のまちづくりについて」
20:10～	質疑
20:55～	お知らせ
21:00	閉会

※進行状況により、多少時間が前後する場合がありますのでご了承願います。

札幌市の行政評価の取組について

1. 行政評価の役割

- 行政評価の役割は、次の通りです。
 - 札幌市の取組を振り返るため
⇒全ての取組を対象に毎年度実施
 - 自己改善のための仕組みとして
⇒診断結果を踏まえて、事業を改善
 - 市民の皆様への市政情報提供のため
⇒評価結果は区役所で資料配布、ホームページで公表

2. 行政評価の流れ

外部評価
行政評価委員会
市民参加の取組

市役所の内部評価
自己評価
検討課題の取組
見直し・改善
予算等への反映
検証・結果公表

外部評価
市役所内部の評価に客観性や透明性を確保することを目的に実施
行政評価委員会
学識経験者、専門家等の視点から評価を実施
市民参加の取組
(市民参加ワークショップ)
市政への市民参加の機会として実施

3. 外部評価について

■外部評価の目的

市役所内部の評価に客観性や透明性を確保するため

○行政評価委員会

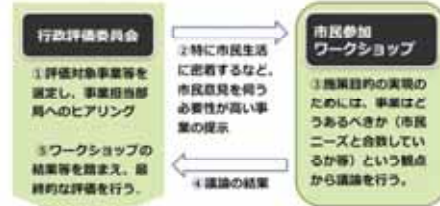
学識経験者、専門家から構成される委員会において、有効性、効率性等の視点から評価を実施

○市民参加ワークショップ

・市民の皆様札幌市の取組への理解を深めていただくとともに、行政評価（市政）へ直接参加する市民自治の実践の場となります。

・行政評価委員会の評価に市民の皆様のご目線、感覚を取り入れるため

4. 市民参加ワークショップの位置付け



⇒市民参加ワークショップでの意見交換を踏まえ、行政評価委員会として最終的な評価を行い、外部評価報告書にまとめた上で、平成27年2月頃に公表します。

市民参加ワークショップの進め方

■ ワークショップとは

いろいろな立場、考えの人が集まり、お互いの意見に耳を傾けながら、課題や方向性を見出す「参加型の会議」です。



今回の、市民参加ワークショップでは、性別、年齢、居住地のバランスを考慮して無作為抽出で選ばれた市民の皆様の中から、参加をご希望いただいた方々によって、2つのテーマに分かれて話し合います。

9月28日(日) 9:30～12:30

テーマ1: 地域防災力の強化について

9月28日(日) 13:30～16:30

**テーマ2: 札幌の魅力を高める
都心のまちづくりについて**

話し合いは、話しやすい雰囲気や、お一人の発言時間をできるだけ多く取れるように、6～7人のグループに分かれて進めます。各グループには、話し合いの進行やまとめをお手伝いするスタッフを1名配置します。また、話し合いの途中で知りたい事が出れば、その場で札幌市の担当者から答えていただけるようにします。



ワークショップの流れ (予定)



2. 対象テーマ事前勉強会での質疑の概要

対象テーマ事前勉強会での主な質疑の概要は以下のとおりです。

◆ 地域防災力の強化について

参加者からの質問	札幌市の回答
資料1 ページに災害の備えを行っている家庭が70%とあるが、3 ページアンケート結果の「特に何もしていない」の数字を根拠にしているのか。思ったより高く、本当にそうなのか、疑問に感じた。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 ページのアンケート結果からの数字である。紹介したのは平成 24 年度の数字になるが、25 年度も同じような数字になっている。
自主防災組織を結成している割合が 90%近いが、本当なのか。マンションに居住し、地域の町内会には加入しており、回覧で情報はまわってくるが、知らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単位町内会がいくつか集まって結成しているところと、1つの町内会で行っているところがある。また、役員さんが代替わりする際に、活動がうまく行かなくなる場合も考えられる。マンションであれば、理事長さんには伝わっているが、住人の方には伝わっていないということも考えられる。
指定避難場所は町内会の単位で作っているのか。土砂災害の指定区域なので、近くの避難所がどうなるのか知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会単位ではないが、町内会が PR している場合は、そのような周知をしているのかもしれない。札幌市としては、どこの避難場所に避難してもらってもかまわない。 ・ 指定緊急避難場所になっているところは、収容避難場所、収容避難場所には基幹避難所と地域避難所がある。基幹避難所には備蓄物資を配置し、災害時には市の職員が参集することになっている。原則最初に避難する場所としては基幹避難所を推奨している。周知不足だという課題もある。
指定緊急避難場所の対象となる災害 4 種類は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水と土砂災害、地震、大規模な火事を想定している。洪水と土砂災害の場合は、屋根のある基幹避難所を指定しており 310 箇所ある。詳しくは市のホームページで公開している。 ・ 大規模な火事の場合は、屋根のない広域避難場所を指定しており、広域避難場所までは遠いという人のために、小中学校のグラウンドで安全な広さのある所を指定しており、330 箇所ある。
土砂、洪水の時に自主避難をしたら、その時点で避難場所は開設しているのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難準備情報が発令された時点では、避難所の開設準備が整っていることになっている。避難準備情報はエリアを区切って出し、土砂災害の警戒区域から近い安全な避難場所を開けることになる。洪水についても同様な対応になる。

避難所の耐震化の状況を知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹避難所（小中学校と区の体育館）310 箇所のうち 273 箇所（約 9 割）が耐震化している。
26 万食の非常食の備蓄場所は、どこになるのか。もし明日何かあった場合のことが気になるので、1カ所なのか、分散しているのか教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・収容避難場所の中に、基幹避難所と地域避難所があり、310 の基幹避難所（市立の小中学校）に分散して配置するため、現在整備を進めている。現在は、リンケージプラザ等に分散して備蓄している。今年度末までに、200 カ所程度整備される予定である。
ハザードマップをダウンロードできるとあるが、早速やってみたがスマホで PDF をダウンロードできない。スマホには対応していないのか。今後、携帯やスマホによる対策を検討する計画はあるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホには対応していない。ハザードマップも含めて、防災アプリ等について民間さんと契約するなど、現在検討中である。
津波のハザードマップはないのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・津波のハザードマップは現在ないが、啓発パンフレットは作成している。先日政府から日本海側の津波被害の想定が発表され、北海道の調査結果を受けて、札幌市に被害が発生するかどうか調査することになっている。平成 22 年の予測では、一部の河川で津波の遡上はあるものの、陸地への被害はないという予測になっている。
行政からの避難誘導について、どこで集約しているのか。また、専門的な判断ができる機関との連携体制は、どのようになっているのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害では、避難勧告等を出すのが我々の役割になる。判断は、土砂災害の場合は気象情報になる。土砂災害警戒情報でエリアを確認し、エリアに対して（市長が）避難勧告を出す。気象台と北海道札幌建設管理課と情報交換（電話連絡）しながら判断している。洪水については、河川管理者から情報をもらって判断する。
災害時の情報伝達方法について、町内会単位でどのような方法があるのか教えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会により伝え方は様々なので、どのような情報伝達方法があったらいいか、ご意見をいただきたい。 ・緊急地震速報を使って、市から携帯電話に情報を流すしくみやテレビを使って情報を流す方法もある。
要援護者がどこに住んでいるのか、町内会でも把握が難しい。町内会に情報提供はできないのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報には本人の同意が取れれば出せる。手稲区などでは実際に本人の同意を得て実施しているところもある。法律が改正されたことを受け、来年度以降をめぐって要援護者の名簿の整理を行っている。災害が起こった際には、自主防災組織に名簿を渡すことになっているが、事前に承諾を得られた人の情報を出すことなどのルールを検討している。

<p>テーマについて議論する際に、災害が起きる前なのか、起きた時なのか、避難場所に行って落ち着くまでなのか、もっと長い期間のことを考えるのか、範囲を決めて話をしないと具体的な議論ができないのではないか。1週間なら1週間と決めて、ある程度区切った方が話をしやすい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きて、初動があつて、しばらく避難場所において、落ち着くまでという時間軸の中で考えていただいた方が良い。 ・災害が起こる前の日常の備え、災害が起きたとき、例えば、その後1週間のことを中心にお話しいただくなど、その範囲を明確にして議論できるようにしたい。
<p>ワークショップの進め方として、グループ分けをするとのことだが、町内会の活動を中心に話をしたい人や、施設やマップについて話したい人など様々な人がいる。また、マンションか戸建てに住んでいるかどうかで考え方も違う。自分の関心ある問題を議論できるようなグループ分けをしたほうがいいのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は様々な立場の人たちが一つのグループに入って意見交換をすることを目的としているため、話し合う内容をごとにグループを組み直すということは想定していない。 ・様々な立場の方が意見を出しやすいような進め方を検討したい。
<p>○参加者からの追加資料の要望（ワークショップ当日までに配布）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要援護者名簿について ・札幌市消防局の救急救命士の人数、札幌市職員の救命講習等の実施状況について ・自主防災活動の取組事例について 	

◆札幌の魅力をも高める都心のまちづくりについて

参加者からの質問	札幌市の回答
<p>都心の各計画に対して様々な課が担当していると思うが、例えば、水道や電気の工事などの整合性はどのようになっているのか。一度掘り返した所を後からまた掘り返すことはないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市の上位計画であるまちづくり戦略ビジョンから、都心まちづくり計画、都心マスタープラン、下水などもその下にぶら下がっている。あとから掘り返すことが無いように横の連携を密にしている。 札幌の都心のまちづくりは、「都心まちづくり局」が調整しているのが特色になっている。
<p>創成東地区の活性化やアクセス向上策について、今後具体的にどのような計画を考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 創成東地区は、近年人口が増加しており、都心に近い居住地区となっている。そのため、住まいを中心にしたまちづくりを意識している。現在、この地区のまちづくり方針を考えているが、今後、地区の皆さんと勉強会をしていきたいと考えている。また、北3条など、東西につながる通路を検討している。また、北ガス跡地の開発や中央体育館跡地の活用を起爆剤にしていきたいと考えている。
<p>創成川の公園は人が少ない印象。カラスがたくさんいて芝生をつついていたり、人通りも少ない。二条市場に近い広場は使っているが、それ以外はあまり活用されていないように見える。創成川は運河だった歴史のある所で、川岸の柳も素敵だったが、今はそうした歴史があったことは感じられない。もっと有効に利用できるのではないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 創成川はかつて大友堀といわれ、運河や灌漑用水路だった場所が残っているもの。公園の中に大友亀太郎の銅像や写真で伝えるエリアがある。親水公園なので人が回遊することを想定している。整備の背景として、創成東エリアの発展がある。東エリアは10年で人口が2倍になっている。柳の木や片側4車線の交通量の多い車道で分断されている状態から、中心部との連携を考え、今のような整備を行った。 沿道が寂しいということだが、東と西をつなぐエリアとして、民間開発で活気が出てくることを長い目で見てほしい。
<p>市民交流複合施設について、どんな場所になるのかももう少し詳しく教えてほしい。イベントや文化活動はどんなものが行われるのか、今ある図書館との関係はどうなるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3つの機能をあわせた施設になる。2300席の多面舞台を持っている。アートセンターは札幌市民の文化芸術活動の推進やアーティストを育てる拠点になる。図書館は都心にふさわしい内容として、ビジネスマン対象の本、文化芸術に関する本、観光客向けの本を配置することを考えている。
<p>平成27年から新しい都心まちづくり計画を策定するとなっているが、北海道新幹線が開通し、始発駅になることは、今後の都心のまちづくりの決め手になると思う。このことに対して、現在どのようなことをしているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成47年に新幹線が乗り入れる予定で、まちづくりへの影響が大きいと考えている。平成24年の提言直後に延伸が決まった。現在は北5条西1丁目の土地の活用を考えている。提言では西2丁目の土地も一体的に活用を進めるべきという意見をいただいている。乗り入れが決まった段階であり、具体的なスケジュールや乗り入れ場所などは確定していない。今後1～2年で市の考え方を示すことを検討している。

<p>大通から札幌駅までは官庁街、南側は商業エリア、東側は工場だったが、今の考えは、4つの軸を考えているとのことだった。今後観光都市を目指すのであれば、古い建物をビルの中に埋もれさせず、一体的に建物の制限をすることなどを考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都心では、都市計画で容積率の縛りをかけているが、高さの制限はしていない。むしろ高度利用を考えている。高い建物ばかりになってしまうのでどう折り合いを付けるかを考える必要がある。例えば、赤レンガ庁舎の前の北3条広場などは、古い建物を生かした例。時計台の周辺についてもまちづくりの中で対応を考えなければならないと思っている。
<p>地下歩行空間は、ただのバイパス化しているように感じる。そこを何とか引き止める手段や、座って休める場所の確保について、どのように考えているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・確かに、現在は通過するだけの場所になっている。これから地上部の活性化について考えていきたい。
<p>以前に比べてビルの前にベンチが置いてあるところが多く、いいことだと思う。今後都心の緑に関しては、多くするなど、何か方針はあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の量はできるだけ増やしていきたい。行政としては街路樹の整備をすることはできるが、大きな公園を作っていくことは、これ以上は難しい。このため、民間事業者に協力を得て、新しく建物を建てる時に道路からセットバックをしてもらい、空間をつくって緑を設ける取組を進めてもらっている。
<p>都心は高齢者や介護が必要な方にとって厳しい場所になっている。このことについてどのように考えているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都心内部はバリアフリーの重点地区として、整備率 100 パーセントを目指して順次整備を進めている。環境や人に優しい都心交通を目指している。
<p>札幌市民の自転車マナーは悪い。高齢者や子どもも多く、歩いていて怖いと感じる。自転車は歩道を通行しないように、車道に自転車専用道路を作ってほしい。また、違反者に対する罰則をつくれぬのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車も車両なので歩道を走ってはいけないことになっているが、車道が狭いため、歩道を走っているという現状がある。対策については、道路管理者、警察、札幌市が一緒に協議する必要がある。自動車道の必要性は認識しているので、どこの路線に専用レーンを設けるかを考える必要がある。 ・罰則については、札幌市の条例の上に国の法律があり、それを超える内容のことはできないので、罰則を設けるのは難しい。
<p>市で予定している事業は色々あるようだが、色々なイベントやお祭りについて、告知はどのように行っているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報さっぽろに掲載するほか、担当部局がホームページでの告知、ポスターを掲出、新聞などのマスコミを活用したPR などを行っている。色々な媒体を活用しているが、全ての情報が市民の皆さんに浸透しているわけではない。今後周知の方法も検討していきたい。

<p>都心のまちづくりがテーマだが、冬季オリンピックの招致に関することも視野に入れているのか。</p>	<p>・今回の都心のまちづくりのテーマの中では、オリンピックの招致に関することは考慮しない。</p>
<p>テーマに「魅力ある」とあるが、誰にとっての魅力と捉えたら良いのか。どのような想定で、計画をたっているのか。</p>	<p>・市民の皆様が、都心の魅力を享受し、来訪者にも魅力を感じていただき、そのことによって人やモノや投資を呼び込みたいと考えている。</p>
<p>○参加者からの追加資料の要望（ワークショップ当日までに配布）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心部で今後整備を予定・検討している駐輪場について ・都心部の昼夜間人口の推移について ・創成東地区まちづくりの基本的な考え方 ・札幌市の都心部への企業立地件数 ・「チ・カ・ホ（札幌駅前通り地下歩行空間）」の通行量について ・主なイベントの来場者数、観光客数、観光資源の魅力向上に関する取組について ・札幌市内の大規模ホール一覧 ・札幌市内の図書施設について 	